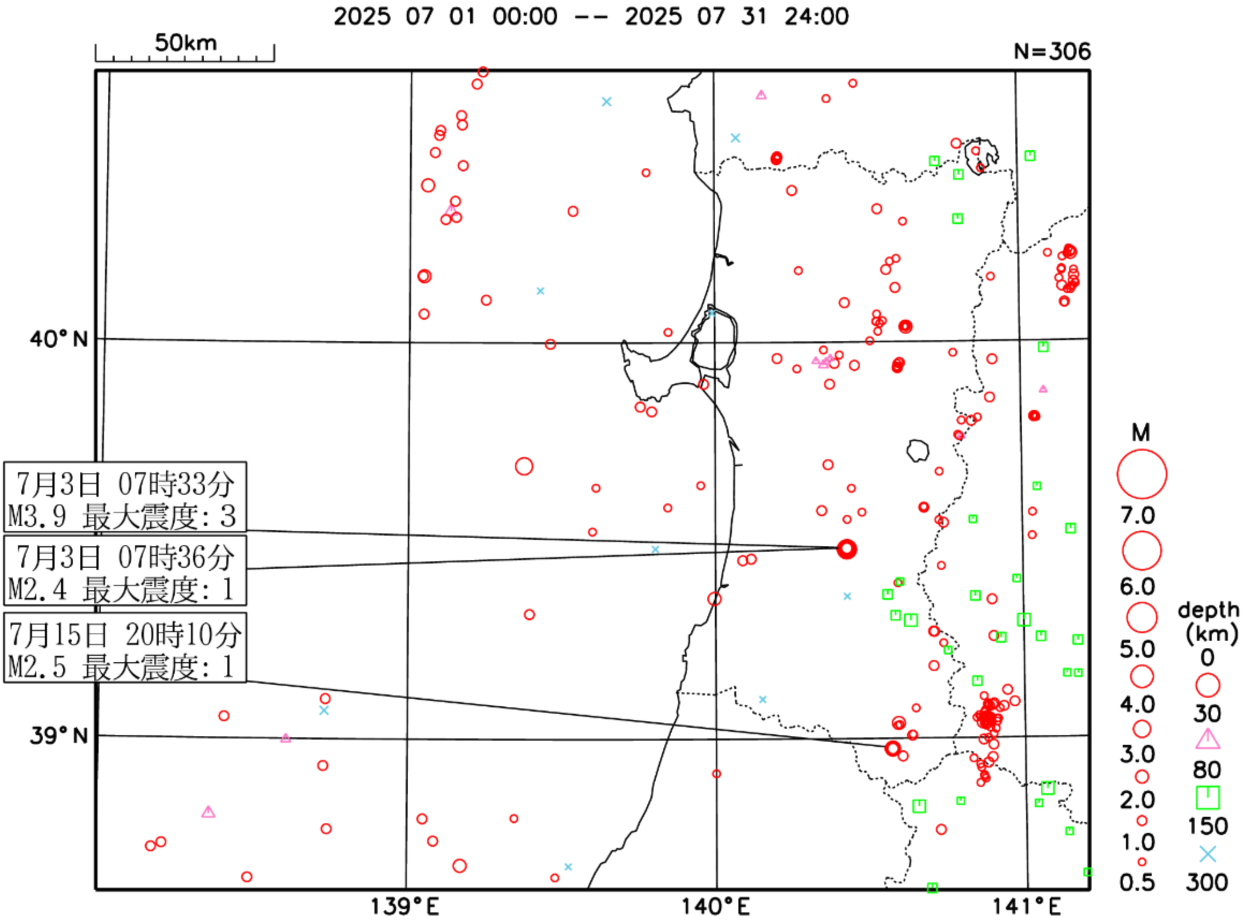
# 秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2025 年 7 月

【震央分布図】




〈７月の地震概況〉

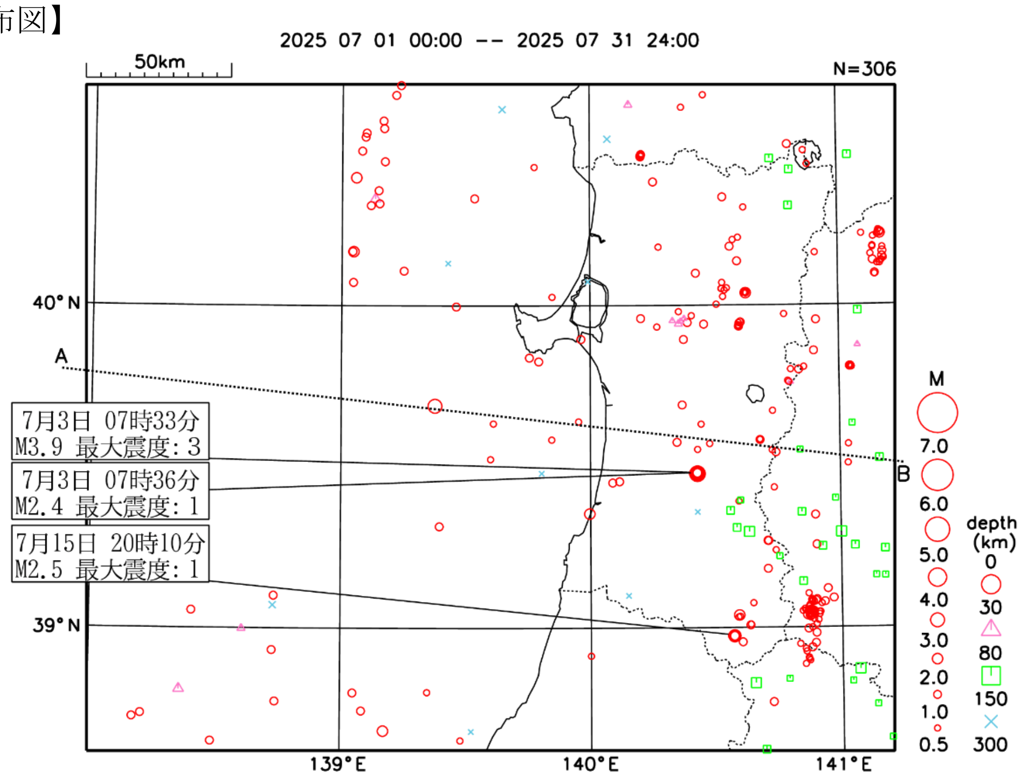
今期間、秋田県内で震度１以上を観測した地震は３回（６月：４回）で、全て図の範囲内を震源とする地震であった。

３日07時33分に秋田県内陸南部の深さ10kmでM3.9の地震が発生し、秋田県で震度３、岩手県で震度１を観測した。県内では、大仙市で震度３を観測したほか、仙北市、美郷町で震度２、秋田市、横手市、由利本荘市、東成瀬村、羽後町、湯沢市で震度１を観測した。また、この地震の３分後の07時36分にほぼ同じ場所の深さ９kmでM2.4の地震が発生し、大仙市で震度１を観測した。これらの地震は、地殻内で発生した。これらの地震の震源付近では「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」以降地震活動が活発で、2017年９月８日にM5.2（震度５強、住家一部損壊４棟：総務省消防庁による）が発生している。

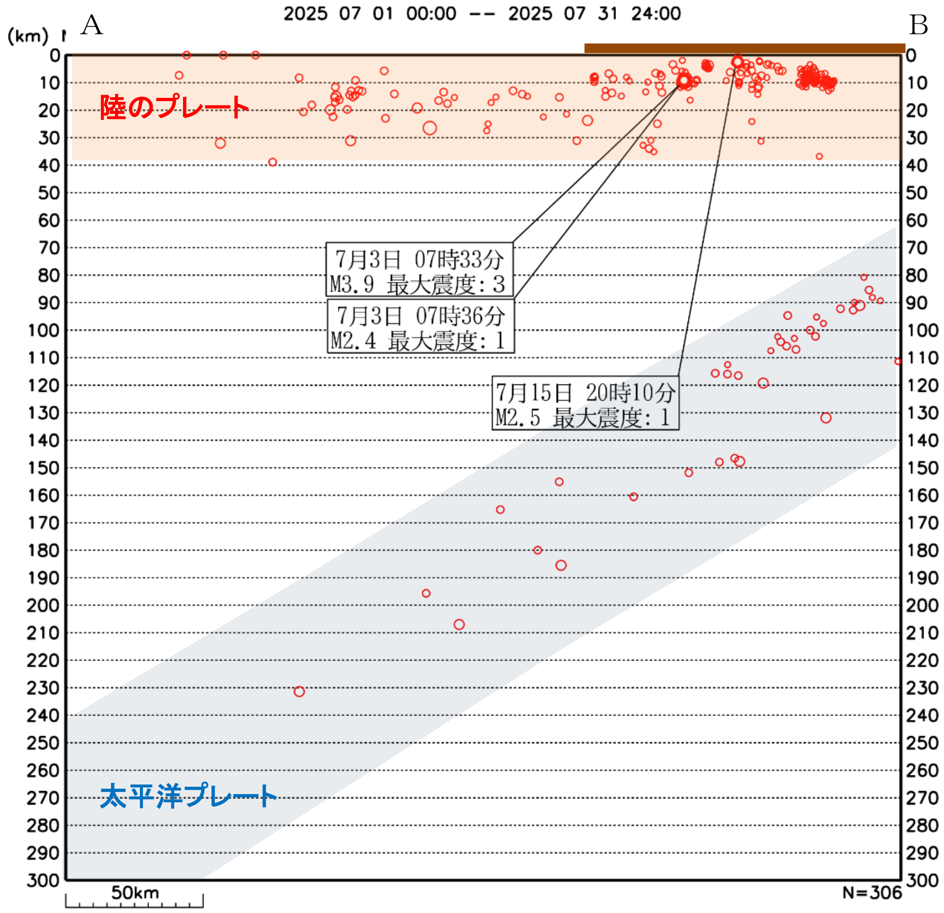
15日20時10分に秋田県内陸南部の深さ２kmでM2.5の地震が発生し、湯沢市で震度１を観測した。この地震は、地殻内で発生した。


本件に関する問い合わせ先　　　　　　秋田地方気象台　TEL 018-864-3955
秋田地方気象台ホームページアドレス https://www.data.jma.go.jp/akita/

【震央分布図】

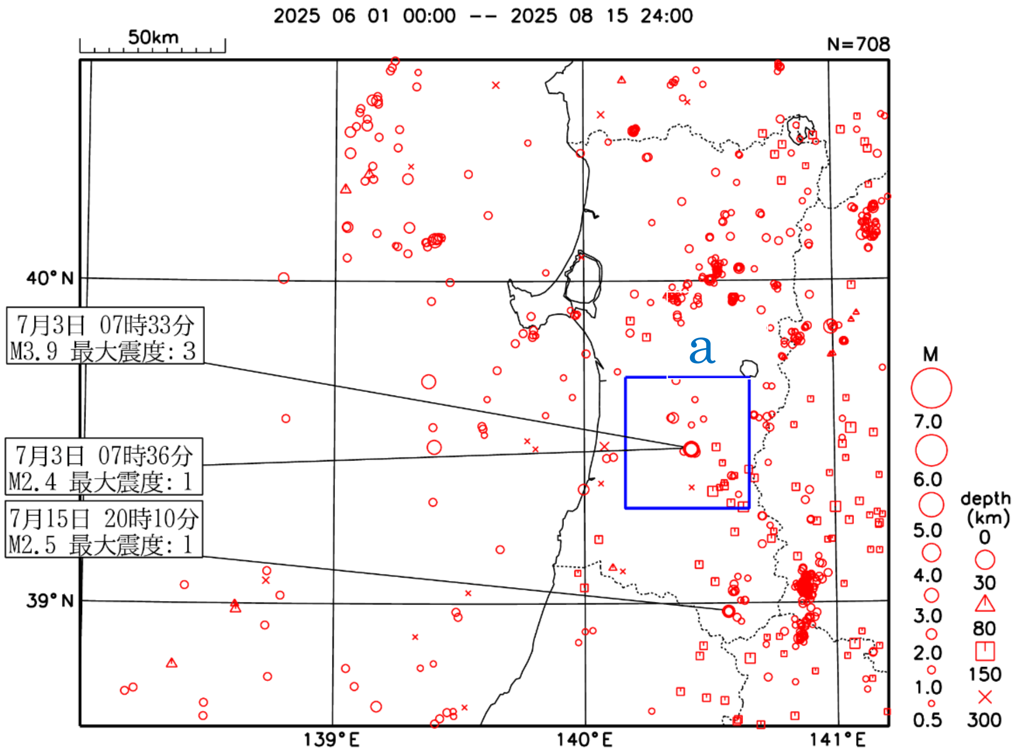



【断面図】（震央分布図内の直線Ａ－Ｂを断面として投影した震源の深さの分布）

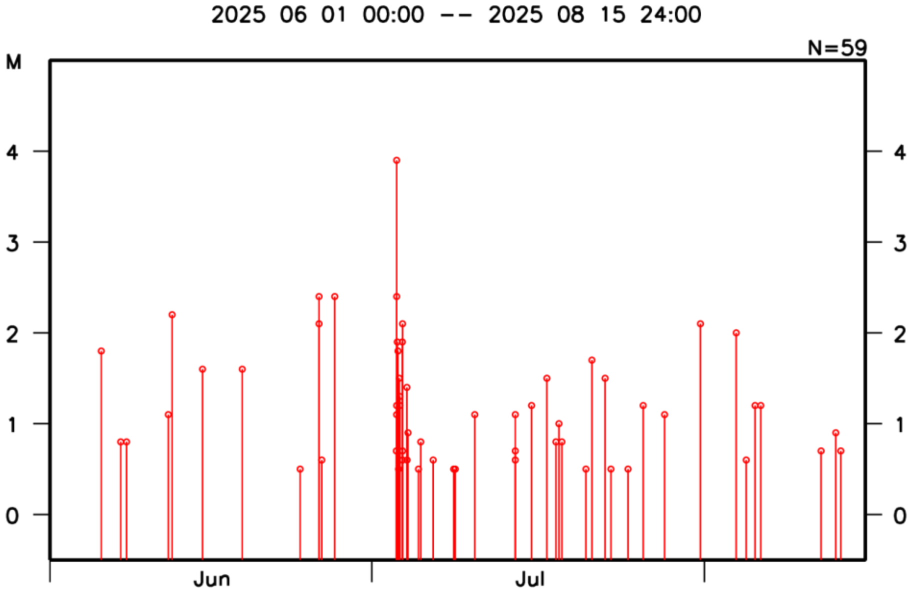



※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
※ ━━━ は陸地の大まかな位置を示している。
※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。
なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

【震央分布図】




【M-T 図】（領域 a の 6 月 1 日～8 月 15 日の M-T 図）




今回の地震の震源付近では、６月 27 日にも M2.４の地震（大仙市で震度１）が発生するなど、６月中旬ごろから M2 程度の地震が複数回発生していた。

# 秋田県で震度１以上を観測した地震の表

**※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。**

**期間　2025年07月01日～2025年07月31日**

| 発　震　時 | 震　央　地　名 | 北　緯 | 東　経 | 深さ | 規模 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 各地の震度 | | | | |
| **2025年07月03日07時33分** | **秋田県内陸南部** | 39°28.6’N | 140°25.6’E | 10km | M3.9 |
| **2025年07月03日07時36分** | **秋田県内陸南部** | 39°28.8’N | 140°25.6’E | 9km | M2.4 |
| **2025年07月15日20時10分** | **秋田県内陸南部** | 38°58.4’N | 140°34.2’E | 2km | M2.5 |

**2025年07月03日07時33分　秋田県内陸南部**　39°28.6’N　140°25.6’E　10km　M3.9

秋田県　震度　3 ： 大仙市大曲花園町＊　大仙市高梨＊　大仙市神宮寺＊
震度　2 ： 秋田美郷町六郷東根　大仙市刈和野＊　大仙市北長野＊　大仙市南外＊　仙北市西木町上桧木内＊
震度　1 ： 秋田市雄和女米木　秋田市雄和新波＊　由利本荘市石脇　由利本荘市前郷＊　横手市雄物川町今宿　横手市大森町＊　横手市大雄＊　湯沢市沖鶴　湯沢市寺沢＊　湯沢市佐竹町＊　羽後町西馬音内＊　東成瀬村田子内＊　秋田美郷町土崎＊　大仙市太田町太田＊　仙北市角館町中菅沢　仙北市角館町小勝田＊　仙北市西木町上荒井＊

**2025年07月03日07時36分　秋田県内陸南部**　39°28.8’N　140°25.6’E　9km　M2.4

秋田県　震度　1 ： 大仙市神宮寺＊

**2025年07月15日20時10分　秋田県内陸南部**　38°58.4’N　140°34.2’E　2km　M2.5

秋田県　震度　1 ： 湯沢市横堀＊

（注）地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。
各地の震度は秋田県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

# 「気象業務はいま 2025」

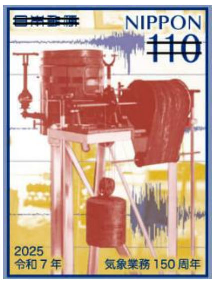
**～6月1日の気象記念日にあわせ「気象業務はいま 2025」を刊行しました～**

「気象業務はいま」は、広く国民の皆様に気象庁の業務の全体像をご理解いただくことを目的として毎年 6 月 1 日の気象記念日に刊行しています。2025 版では、気象庁の前身にあたる東京気象台が、地震観測と気象観測を明治 8 年（1875 年）に開始してから 150 周年を迎えたことから、特集として気象業務 150 周年の歴史、150 周年記念事業を掲載しています。

**地震分野では、初めての「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」発表、令和６年能登半島地震の振り返り、「津波フラッグ」による津波警報等の伝達、阪神・淡路大震災から３０年をトピックスに、地震･津波の知識を学べる短編動画の紹介をコラムとして掲載していますので、ぜひご活用ください。**

**「気象業務はいま 2025」目次から地震・津波関連を抜粋**

**Ⅳ 地震・津波・火山に関するきめ細かな情報の提供** ……52
Ⅳ-１ 初めての「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」発表 ……52
（1）はじめに ……52
（2）南海トラフ地震臨時情報発表に至るまでの対応 ……52
（3）南海トラフ地震臨時情報の解説と防災上の呼びかけ ……52
（4）振り返りや課題 ……53
（5）巨大地震対策に関する平時からの普及啓発の取り組み ……53
コラム 地震・津波の知識を学べる短編動画 ……54
Ⅳ-２ 令和６年能登半島地震の振り返り ……55
（1）地震の概要 ……55
（2）津波観測体制の強化 ……55
Ⅳ-３ 『津波フラッグ』による津波警報等の伝達 ……55
（1）津波フラッグとは ……55
（2）津波フラッグの周知・普及活動 ……56
Ⅳ-４ 阪神・淡路大震災から 30 年 ……57
（1）阪神・淡路大震災の概要 ……57
（2）阪神・淡路大震災を契機とした地震業務の改善 ……57
（3）阪神・淡路大震災特設サイトをリニューアル ……57




気象業務 150 周年　110 円郵便切手の一枚

ウィーヘルト地震計と震動波形のイメージ

**「気象業務はいま 2025」は、気象庁ホームページからダウンロードできます。**

**→ ホーム ＞ 各種申請・ご案内 ＞ 刊行物・レポート＞ 気象業務はいま 2025**

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/hakusho/2025/index.html

防災メモ２

# 津波第１波の到達予想時刻図の迅速な提供

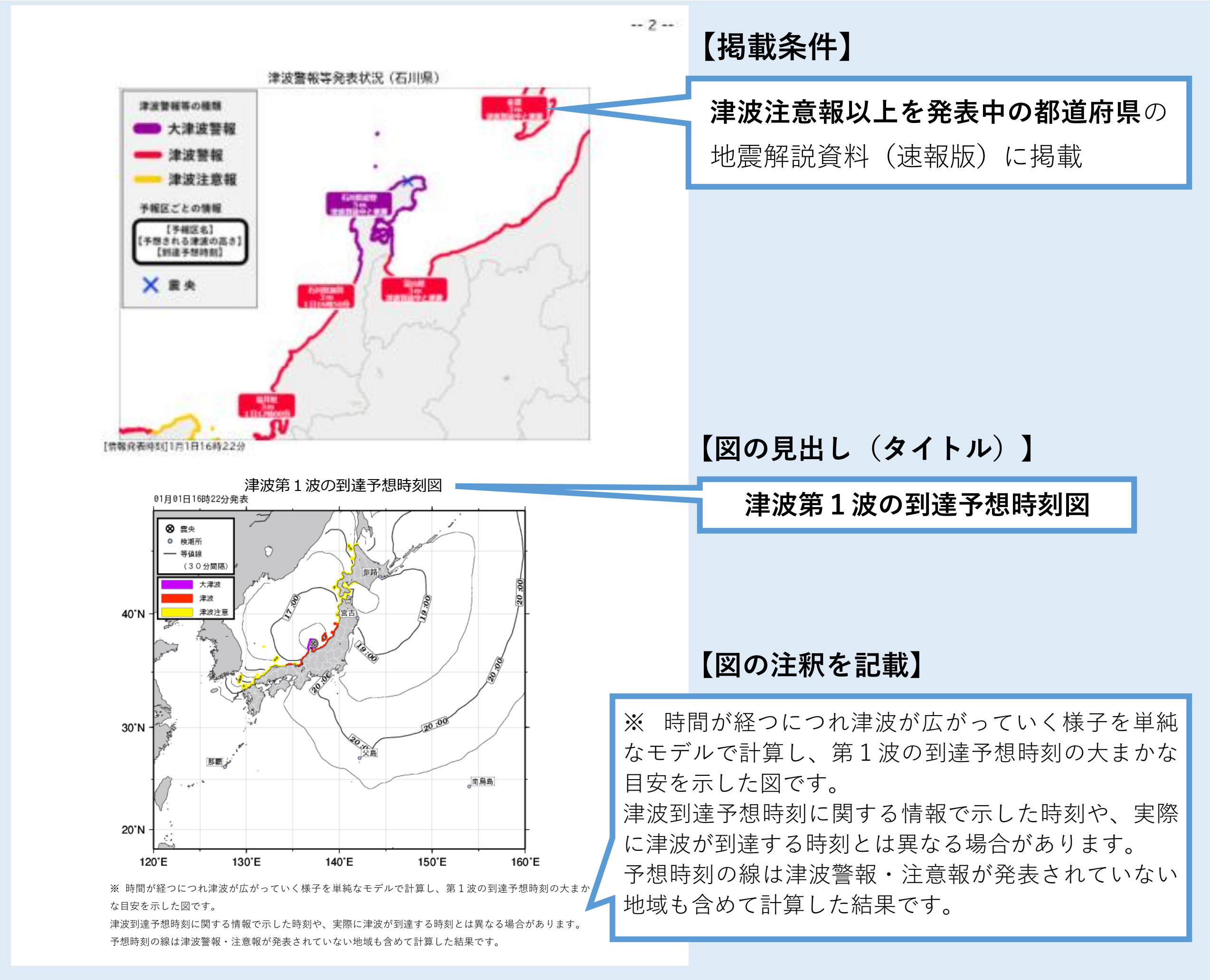
## ～地震解説資料（速報版）に津波第１波の到達予想時刻図を掲載～

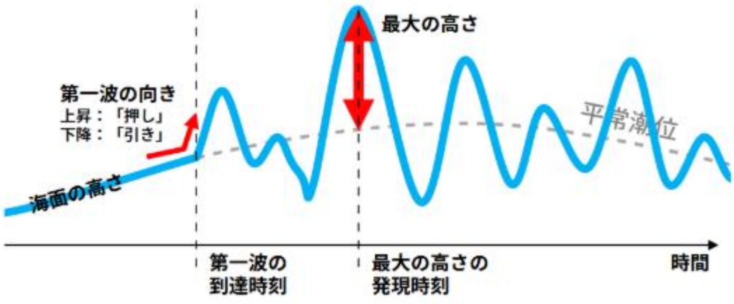
津波警報・注意報発表時、津波第１波の到達予想時刻図を、地震発生の１～２時間後に気象庁が発表する報道発表資料（地震解説資料（詳細版））に掲載する形で提供しています。この到達予想時刻図について、今年（令和７年）３月より、地震発生の約30分後に発表する地震解説資料（速報版）にも掲載して提供しています。

津波警報・注意報発表時も、地震解説資料（速報版）を防災対応等にご活用ください。

なお、海外で発生した地震の場合は、これまでと同様に掲載しません。

### ○ 地震解説資料（速報版）の掲載イメージ




津波の「第一波」及び「最大波」の測り方

## ○ 地震解説資料（速報版）へのアクセス方法

① 気象庁ホームページの「防災情報」タブをクリック

② 地震解説資料をクリック

③ 全国の「地震解説資料」のページが表示されるので、お住まいの都道府県を選択

④ 最新の「地震解説資料（府県版）」をクリック

※ あなたの町の防災情報のカスタマイズで「地震解説資料」の表示をONにされている方は、あなたの町の防災情報に表示されている「地震活動資料（府県版）」から確認できます。